

8209 私は、最近何年間か、しばしば京都に・・・

私は、最近何年間か、しばしば京都に出かける。そして、京都にゆくたびに、痛切に思う。京都こそは、本当に都会らしい都会だと。京都は、都会としても美しく、しかも、世界中のほかのどんな都市ともちがう美しさをもっている。それに比べると、私が生まれ、今も住んでいる東京は、都市として醜悪である。

吉田秀和『ソロモンの歌』

[許容訳例]

I have often been to Kyoto during the past few years, and whenever I go there, I keenly feel that Kyoto is particularly worthy of the name of “city.” It is beautiful as a city, and moreover its beauty is different from that of any other town in the world. In comparison with it, Tokyo, where I was born and still, is ugly as a city.

[翻訳例]

During the past few years I have been to Kyoto on many occasions. And every time I go there, the same thing strikes me very forcibly: that Kyoto is supremely worthy of the name of “city.” It is not only beautiful as a city, but beautiful in a way different from any other town in the world. By comparison, Tokyo—where I was born and where I live today—is, as a city, ugly.

■私は、しばしば京都に出かける。(8209)

◆for … years と during … years の違いに関して

★「最近何年間か」ですが、for the past[last] few years は使えません。for…は、たとえば、I have been living here for several years./ I have been writing a book for the past[last] few years./ I have been very busy for the past few weeks.のように「過去に始まった状態が現在まで続いている」という場合に使うのです。この「最近何年間か私はしばしば京都にでかける」は、言い換えると、「最近何年間か私はしばしば京都に行くという経験をした」(I have often had the experience of going to Kyoto.)ということですから during the past[last] few years を使います。なお、位置は文頭でも文尾でもかまいませんが、日本文に合わせて、前に置いた方がいいでしょう。

★「しばしば」に often を当てるのは、ちょっと弱いように感じられます。often に近いのですが、frequently の方がいいでしょうし、さらに、ここでは many times とか on many occasions の方が「しばしば出かける」という感じが具体的によく出てくると思います。

★「私はしばしば京都に出かける」ですが、「最近何年間か」という期間が付いているので「しばしば出かける」は、英語では「現在完了」(経験)(アメリカでは子供たちに現実の時間と動詞の関係を覚えさせるときの I have done it many times.) です。I have been to Kyoto. です、

■そして、京都にゆくたびに、痛切に思う。(8209)

● [そして]

[そうして] は「順次」です。英語では and を使います。こういう場合、英語でも、切って、And…としてもいいと思います。

◆every time…と whenever…の感覚

★「京都にゆくたびに」は every time I go there が具体的に「そのたびに」の感じがでます。 whenever I go there でもいいのですが、これは「いつ京都に行っても」という感じで、先ほどの often と同様に、何となく弱く曖昧に感じられます。なお、この短い文に「京都」が4回も出でます。すぐ前に「京都に出かける」があるので、ここは go there とします。

★「痛切に思う」には something strikes me very keenly[forcibly] という表現をよく使います。この場合、something の代わりに one thing あるいは the same thing を使ってもいいと思います。ところで、「痛切に」に keenly を使い、「思う」に feel を使ってもいいのですが、ちょっと気になります。通常、feel…keenly という組み合わせは、たとえば、I felt his death very keenly.とか、I felt the loss of my father very keenly.のように何らかの痛みを伴う場合に使うのです。つまり、to feel something keenly というのは it was painful to me; it got through to my heart; it was very important to me and had a very emotional effect on me というような感じを持っている表現です。それに比べて strikes me…という表現は、たとえば、Kyoto strikes me as a very beautiful city.というようにも使えます。

■京都こそは、本当に都会らしい都会だと。(8209)

◆It is…that…の強調形の使い方

★「京都こそは・・・」の「こそ」を表すのに It is Kyoto that…という強調形を使うことはできません。強調形というのは、たとえば、Among those three cities it is Kyoto that is the most beautiful.というように、必ず何かと比較して使う言い方です。日本語の「～こそ」という言葉は使われる個々の場合に合わせて、それぞれ適当な訳語を選ぶしかないと思います。この場合は above all が使えます。

★「本当に」は supremely とか of all cities で表すことが出来ます。

★「都会らしい都会だ」は is worthy of the name of city とか is worthy to be called a city でしょう。他に if ever a city deserved the name, it is Kyoto とか Kyoto is a *real* city.とかも可能です。

■京都は、都会としても美しく、しかも、世界中のほかのどんな都市ともちがう美しさをもっている。(8209)

★「京都は都会としても美しい」は Kyoto is beautiful as a city でいいでしょう。「都会」が city かという問題もありますが、city という言葉はその前後の関係で非常にニュアンスの変わってくる言葉で、ここで使っている「都会」という言葉の感じにやはり一番近いと思います。

● [しかも]

[しかも] は and moreover でもいいですが、他に not only…but…でもいいです。たとえば、It[Kyoto] is not only beautiful as a city, but…とか Not only it[Kyoto] is beautiful as a city

but…のように。

★「世界中のほかのどんな都市」は any other town in the world でしょう。ここでは「都会」ではなく「都市」となっているので、英語でも別の言葉を使いたくなります。

◆「any other + 単数・複数」について

この「世界中のほかのどんな都市」は any other town in the world であって、town を towns にすることはできません。「any other + 単数・複数」は比較するものが単数か複数かによって決まります。たとえば、Kyoto and Nara have a beauty quite different from any other towns./ Tanaka and Suzuki is are taller than any other boys in the class. と複数になりますが、比較するものが単数の場合は、たとえば、Tanaka is taller than any other boy in the class. のように単数になります。

★「…とものがう美しさをもっている」もいろいろな書き方が可能です。it has a beauty quite different form…; its beauty is quite different from that of…; it is beautiful in a way different from… など。

■それに比べると、私が生まれ、今も住んでいる東京は、都市として醜惡である。(8209)

★「それに比べると」には in[by] comparison with[to]…が使えるので、in comparison with it でもいいのですが、with it がちょっと弱い感じがします。by comparison としたいです。

●「連体修飾節+特定体言」(私が生まれ、今も住んでいる東京)

「私が生まれ、今も住んでいる東京」は「連体修飾節(私が生まれ、今も住んでいる) + 特定体言(東京)」ですから、英語では「特定名詞(Tokyo) + コンマ関係詞節」になります。書き方によってはコンマの代わりにダッシュを使うことも出来ます。

まず「私が生まれ(た)」は I was born でしょう。「(私が)今も住んでいる」は「(将来はどうなるかわからないが)今の時点ではまだ住んでいると現在の状況を強調して still I am living と進行形にしても間違いではありませんが、ごく普通に still live としてかまいません。ただ、born に続いて live が来るので、意味が曖昧(「生きている」のか「住んでいる」のか)になりますから、「生まれ…」は「そして」を加えることが出来るので and ですが、Tokyo, [--] where I was born and still live, [--] としないで Tokyo, [--] where I was born, and where I still live, [--]…とする方がいいと思われます。ただし、これは文法の問題ではなく、むしろ文体の問題になります。

★「都市として醜惡である」は、is ugly as a city でもいいのですが、英語としては、Tokyo…is ugly. とする方が自然です。それに「都市として」(as a city)にいくらか比重の重さが感じられます。したがって、Tokyo, as a city, is ugly とすると「東京は、都市としては」のニュアンスがはっきりと出てくると思います。